

HVA280-2phi XE Header Connector

1. 製品名称及び型番

1.1. コネクタ

名称	*型番	品名
オスコネクタ	2229745-[]	HVA280 HEADER ASSY BLADE TERMINAL TYPE

Fig.1

*注記: 型番(パーツナンバー)は、リスト中親番にダッシュ付きの1桁の数字をもって構成されます。
各親番に対するダッシュ付き番号の詳細は顧客図面またはカタログを参照下さい。
なお、接頭の数字がゼロの場合は、ゼロ及びダッシュは省略されます。

1.2. 製品の構成図

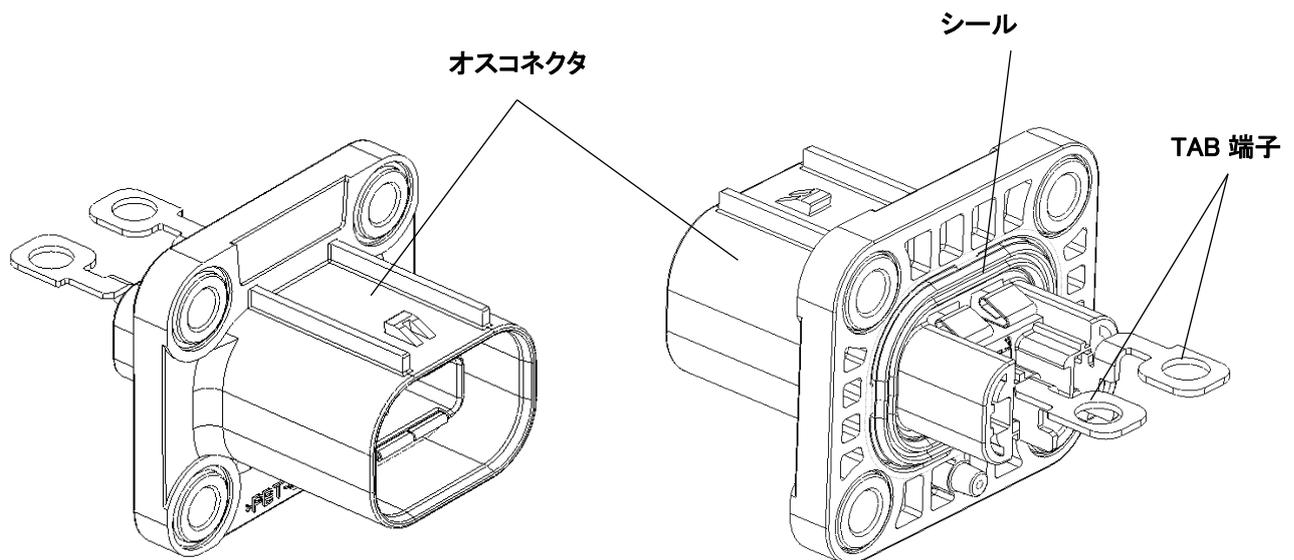


Fig. 2

2. 顧客の受入検査

TE 品質管理規定により検査を行い、出荷に際しては完全なロット管理を行っていますが、受入検査として少なくとも該当製品の顧客用図面の内容について、検査をすることが望まれます。

3. 保管および運搬時の取扱いについて

3.1. コネクタ

- (1)直射日光にあたらない乾燥した清潔な屋内で、かつ常温常湿(5~35°C, 45~85%RH)の環境下に保管して下さい。
- (2)露出状態での運搬や、長時間放置することは避けて下さい。
- (3)運搬の際は、落下・衝撃を避けて下さい。

4. 組付け

- 4.1. コネクタ取付けデバイスを準備します。取付け部形状は C-2229745 参照願います。
- 4.2. シールがオスコネクタにズレ、めくれ等無く正しく付いていることを確認下さい。シール組付け状態に異常がある場合使用しないで下さい。(Fig.3 参照)

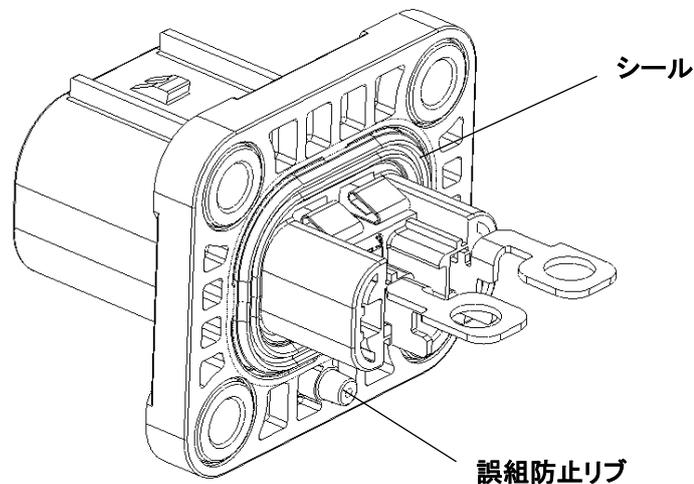


Fig.3

- 4.3. オスコネクタの誤組防止リブと筐体側の穴位置を合わせ筐体にオスコネクタを挿入します。(Fig.4 参照)

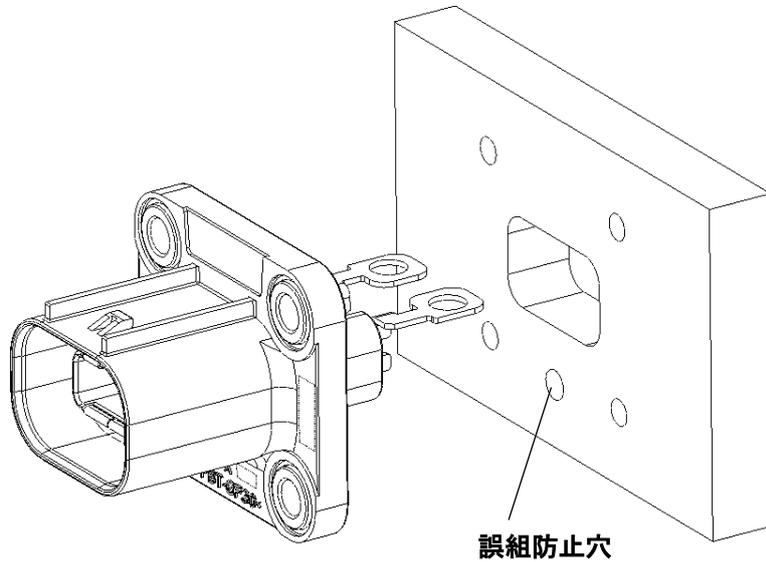


Fig.4

注意 コネクタ組付け作業は、端子の変形や筐体間口の傷に注意しながら慎重に作業して下さい。

注意 シール部にゴミ等の異物が付着しないよう注意作業して下さい。

- 4.4. オスコネクタのカラーに M4 ネジ(4 本)を通し筐体のネジ穴に M4 ネジを組付ける。
推奨ネジ締めトルクは $2.5 \pm 1\text{Nm}$ (Fig.5 参照)

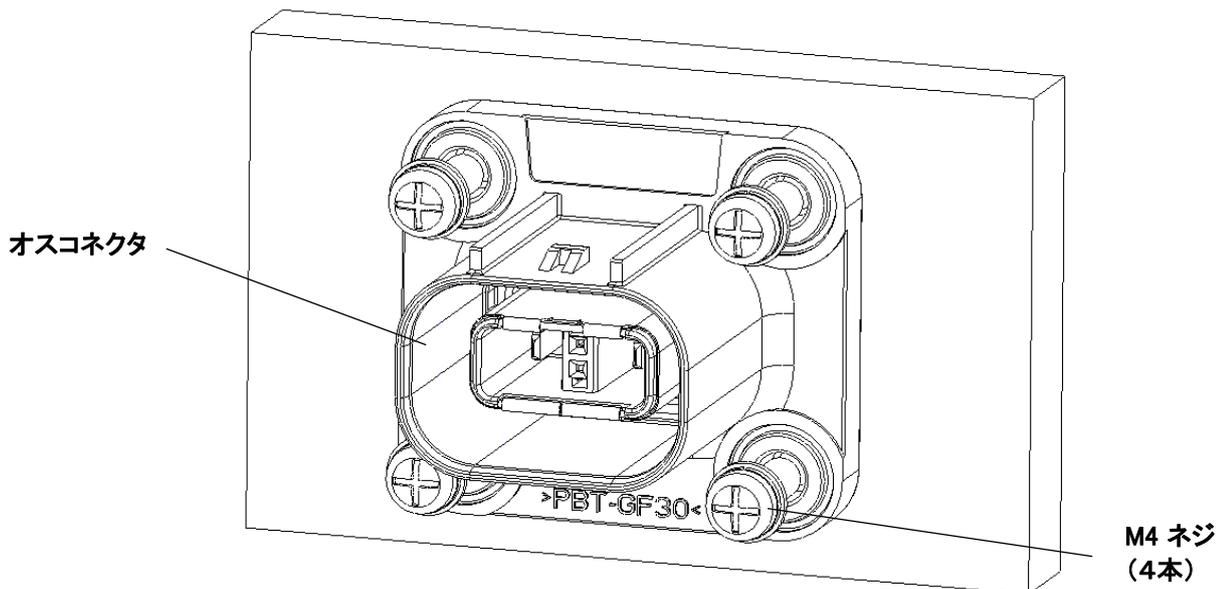


Fig.5

5. コネクタ嵌合

- 5.1. Fig.6 に示されるようにメスコネクタとオスコネクタを平行に並べます。

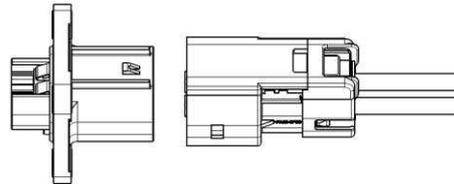


Fig.6

- 5.2. コネクタを完全に停止するまで押し込みます(クリック音が 2 回聞こえます)
コネクタが完全にロックしているか軽く引いて検証してください。
フローティングラッチ上のインジケータスロットの位置を視覚的に確認してください。

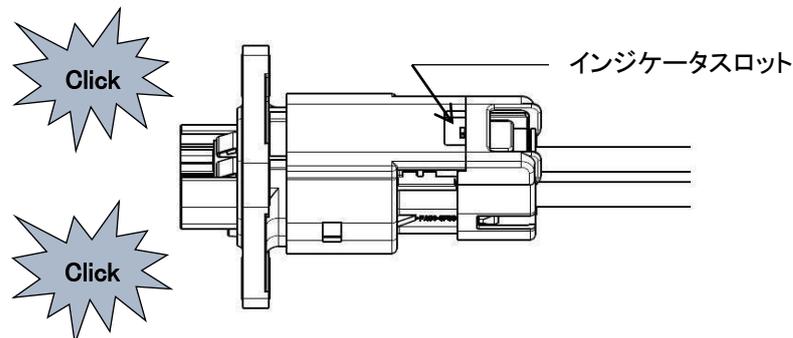


Fig.7

注意 端子の変形、変色、傷、錆、コネクタの変形、割れ、欠損、変色等の異常を発見した場合、必ず新品と交換してください。製品性能を満たせない恐れがあります。

注意 挿入時はメスコネクタをこじらないよう注意して作業を行ってください。
こじりとは、正常な挿入方向以外に過度の外力を加えながら嵌合を完了させようとすることを指します。こじりによってハウジングや端子が予期せぬ破損を生じる恐れがあります。

注意 ハウジングロック確認目的のため、必要以上の荷重で引張り確認を行わないでください。
強く引っ張ると、コネクタロック部の性能低下を引き起こす恐れがあります。また 100N を超える荷重では破損する恐れがあります。

6. コネクタ引き抜き

- 6.1. メスコネクタフレキシブルラッチ上の親指作動部を完全に押し下げます。
(Fig,8 参照)

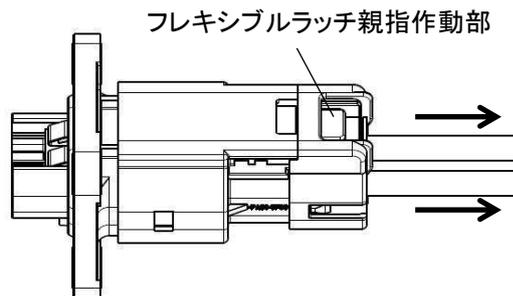


Fig.8

- 6.2. メスコネクタを中間位置まで引き戻します(~4.5mm)。この時点で、HVIL 回路がオープンしますが、HV 端子はまだ接触しています。
- 6.3. 完全にフローティングラッチ上の作動部を押し下げます。(Fig,25 参照)

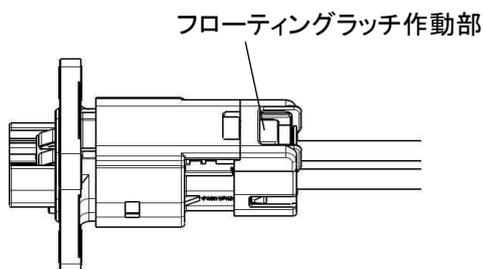


Fig.9

- 6.4. オスコネクタから完全に離れるまでメスコネクタを引っ張ります。(Fig,10 参照)

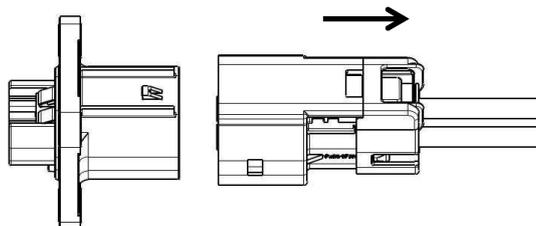


Fig.10

注意 ハウジングロックレバーが解除されていても、端子や極数、ハウジング形状などの仕様によって引き抜きに要する力が異なるため、作業によっては本作業を実施できない可能性があります。予期せぬ怪我を避けるよう、注意してください。

注意 引き抜き時はメスコネクタをこじらないよう注意して作業を行ってください。こじりとは、正常な挿入方向以外に過度の外力を加えながら嵌合を完了させようとすることを指します。こじりによってハウジングや端子が予期せぬ破損を生じる恐れがあります。

注意 電線だけを引っ張ると断線やオスコネクタやメスコネクタ破損の恐れがあります。作業はメスコネクタ本体を持って行ってください。